

町青少年久米島交流事業

この経験を今後活かす！

■概要

この事業は、町の未来を担う青少年の育成と沖縄県久米島町との友好を目的に、平成7年の全国なかさとサミットでの交流がきっかけで始まりました。交流が途絶えていたときもありましたが、中泊町合併10周年の記念事業であるビーチサッカー大会を機に、交流を再開しました。3月27日(火)～3月30日(金)の春休み期間



に実施し、町内の中学生13人が参加しました。

■1日目(3/27(火))

小泊を朝5時に出発し、青森空港へ。空路で羽田空港と那覇空港を経由して夕方に久米島空港に到着しました。久米島町議会の幸地議長らが出迎え、セレモニーを行っていただきました。生徒は3グループに分かれて久米島町で盛んに行われている民泊でお世話になりました。最初は緊張している生徒が多かったようですが、時間の経過とともに慣れて仲良くなれたようです。

また、初めての沖縄の家庭料理は、生徒たちに大好評で、受け入れてくれた家族のみなさんもほっとした様子でした。

■2日目(3/28(水))

午前は島巡りや釣り、農作業の手伝いなど民泊先でそれぞれ分かれて島の暮ら



しを体験しました。その後、工房でシーサーづくりを体験しました。昼食を挟んで、久米島町役場を表敬に訪れました。三上虎丸君が代表して「島の暮らしや生活文化などを学び、今後活かしたい」と決意表明しました。大田久米島町長と幸地町議会議長からは、それぞれ歓迎の言葉をいただきました。役場を後にした生徒たちは、海底がみえる船で30分かけて、珊瑚、熱帯魚、ウミガメなどを見ながらハテの浜へ移動しました。ハテの浜に到着すると、生徒達は我慢できず服のまま海に飛び込み泳ぎました。船長の話では、年中暖かく、白い砂浜とエメラルドグリーンの海を見ると泳がずにはいられないとのことでした。

■3日目(3/29(木))

この日は2部構成で、午前は平和について学習。飛行機で糸満市へ移動し、平和祈念公園で、第二次世界大戦沖縄戦を学習し、思いを馳せました。



午後は沖縄ワールドで鍾乳洞や様々な沖縄文化の体験、首里城見学では、当時の中国の影響力や、他の城と違い、争いを想定していないつくり、関心を寄せていました。

■4日目(3/30(金))

いよいよ最終日。別れを惜しみながら、青森へ帰ります。中泊町役場へ到着すると、濱館町長と米塚教育長へ今回の交流事業について1人1

人報告しました。「この経験を通じて今後に活かしたい、町の役に立ちたい」などの力強い報告に対し、町長は「沖縄での生活文化にふれ、いろいろなことに関心を持つきっかけになったと思う。みなさんの成長に期待している」と激励しました。

参加生徒の報告から

■中里中3年 三上 虎丸

この交流を通じて、青森とは違う文化にふれることができた。また、普段とは全く違う気候を体験することができた。久米島町や沖縄本島で学んだことを今後の生活に役立てていきたい。

■中里中3年 秋田 陽向

今回の経験を通して、行く前と比べ、たくさんを知ることができた。この交流で学んだことを活かすことがあれば、少しでも町に協力したい。

■中里中3年 藤本 沙希

青森にない景色(南国の木)がたくさん。民泊先では家族みたいに自然に過ごせた。沖縄の人の気づかいは勉強になった。私も優しい人になり、将来は人と接する仕事につきたいと思う。

■中里中3年 川島 心

沖縄に行つて、現地の人の話し方が親切で、明るい人たちがばかり。私も明るく気づかひができる人になりたいと思う。沖縄でしかあじわえない経験をして、とても勉強になった。

■中里中3年 中畑 遥菜

初めての民泊でドキドキしたが、やさしく迎えていただき、おばあちゃんの家にいるような感覚になった。久米島町で体験したおもてなしの心を大事に日々過ごしていきたい。

■小泊中2年 升田 柊

久米島空港で民泊先の出迎えがありやさしさを感じました。世界からみたら小さい日本だが、青森と沖縄の文化、気候の違いに驚いた。



■中里中2年 長利 留羽奈

青森と違う気候、言葉、風呂よりシャワー、家みたいなお墓など、特徴のある生活文化があつた。また、珊瑚やウミガメも見ることができた。この交流を通じて、たくさん勉強・思い出をつくることができた。

■中里中2年 新岡 李桃

民泊先ではご飯が美味しく、特にみなさんのやさしさを感じた。これから私ももっと人にやさしくしていきたい。沖縄の守り神「シーサー」づくりは、楽しい思い出になりました。

■中里中3年 外崎 こずえ

今回の経験で生活、食事、いろいろな文化などを体験できた。ハブに

注意の看板に驚いたが、たくさん勉強できた。今回学んだことは、将来の仕事にいかしたい。

■中里中3年 宮腰 寧々

久米島は暑かった(25℃)。民泊では、家族が優しく接してくれましたが、何を言っているか分からなかった。首里城は教科書でのイメージより大きくびっくりした。その他たくさん学んだ。

■小泊中2年 藪田 圭史

民泊で家族や地域の人と交流したこと、沖縄本島では平和学習で学んだ知識を忘れずに、学校生活、将来に活かし、さらに町の発展にも協力していきたい。

■小泊中2年 久保田 希空

台風の影響もあり木造の建物がないこと、中国文化を受けたお墓、初めて食べた沖縄料理(美味しい)など、青森との違いをたくさん学んだ。このことを活かして町をより良くしていきたい。

■中里中3年 宮越 凜々

初めての飛行機、民泊での生活、交流、沖縄料理、サトウキビかじり、戦争中の苦しい時代の学習など、たくさんすることを体験できて勉強になった。これからの生活に役立てていきたい。

